

◎第2回理事会(37.7.27)出席者:藤井会長,岡本副会長,ほか理事8名。議事:1)学術研究連絡委員会について。2)東洋レーヨン科学技術助成金候補者および同科学技術賞候補者推薦について。3)講習会,講演会の共催について・a.宅地造成技術者講習会, b.放射線シンポジウム, c.エスカンド教授講演会,をそれぞれ承認。4)委員会委員および幹事委嘱について

a. 水理委員会

中部地区 委員 豊田 栄一 転勤のため
西畑 勇夫 (名古屋大学教授)

b. 高校土木教育研究会

委員 古屋 一雄 転勤のため
井沢 五郎 (新潟県立高田工業高校長)
委員 小林 泰 転勤のため
今沢 豊正 (建設省監察官)
幹事 山崎須磨雄 退職のため
橋本 清 (神奈川県立川崎工業高校土木科長)
幹事 正木 藤一 転勤のため
小林 長雄 (山梨県立甲府工業高校土木科長)

c. 土木学会50周年記念事業委員会,実行計画を推進するため次のように委嘱

委員 五十嵐 醇三 (首都高速道路公団)
〃 尾之内 由紀夫 (前理事)
〃 岡部 保 (理事)
〃 岡本 東一郎 (〃)
〃 奥村 敏恵 (〃)
〃 長浜 正雄 (〃)
〃 末森 猛雄 (専務理事)
〃 八十島 義之助 (東京大学教授)
〃 飯吉 精一 (鉄道建設興業KK)
〃 荒井 力 (前田建設KK)
〃 亀卦川 振興 (日本鋪道KK)

d. 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会

| | | |
|-----|-----------------|-----------------|
| 委員長 | 園分 正胤 (東大) | 村田 二郎 (都立大) |
| 委員 | 丸安 隆和 (東大) | 小林 一輔 (東大) |
| | 水野 俊一 (阪市大) | 吉田 弥智 (東大) |
| | 岩崎 訓明 (東洋大) | |
| 幹事 | 長滝 重義 (東大) | |
| 委員 | 伊東 茂富 (建設省) | 柳田 力 (建設省) |
| | 福田 正 (建設省) | 伊藤 和幸 (通産省) |
| | 山本 保晴 (東京都) | 三浦 一郎 (国鉄) |
| 主査 | 樋口 芳明 (国鉄) | |
| 委員 | 菅原 操 (国鉄) | 小寺 重郎 (国鉄) |
| | 野口 功 (国鉄) | 松本 嘉司 (国鉄) |
| | 関 慎吾 (電研) | 永倉 正 (電研) |
| | 西沢 紀昭 (電研) | 徳田 弘 (電研) |
| | 水越 達雄 (東電) | 吉越 盛次 (電発) |
| | 細谷 浩正 (電発) | 岩間 滋 (道路公用) |
| | 松野 操平 (道路公団) | 片野 洋 (東京都) |
| | 杉木 六郎 (小野田セメント) | 土岐 高史 (小野田セメント) |
| | 波木 守 (小野田セメント) | |
| 幹事 | 山崎 寛司 (日本セメント) | |
| 委員 | 塚山 隆一 (日本セメント) | 北川 義雄 (鹿島建設) |
| | 玉置 脩 (首都高速) | 森 宣制 (労働省) |

5) その他・a. 次回理事会の件, b. 北海道支会見学会(本部共催)と支部役員との懇談会について, 追加議題: 1) 特別員の増強推進について了承, 2) 学会活動のあり方に関する懇談会開催について・岡本副会長説明, 希望意見を求めるため会誌に掲載する。3) 理事会の終了時間について・原則として午後8時ま

でとすることを了承。6) 会員入退会および会計報告を承認。

◎各種委員会

(1) 高校土木教育研究会第4回幹事会(37.6.30)出席者: 八十島幹事長, ほか幹事8名。議事: 1) 調査資料(アンケート)の結果報告, その他。2) 委員, 幹事の後任問題について。3) その他。

(2) 高校土木教育研究会第3回委員会(37.6.30)出席者: 委員7名および八十島幹事長, ほか幹事8名。議事: 1) 調査資料(アンケート)の結果報告, その他。2) 委員, 幹事の後任問題について。3) その他。

(3) 第2回会誌編集小委員会(37.7.3)出席者: 八十島, 堺正副委員長, ほか委員7名。議事: 1) 47巻7号口絵写真, ニュースの決定。2) ローターリ欄について。3) 学会誌を平易化するために題目を一部変更してわかりやすくすることにした。4) 新しい講座の件。5) 47巻8号の内容について。6) その他。

(4) RC工場製品分科会(37.7.4)出席者: 杉木主査, ほか委員および幹事9名。議事: 1) 第4回議事録の承認。2) 工場製品の条項について検討・コンクリート委員会より指示のあった鉄筋, 養生, かぶりの項について, 設計の問題についての取りあげ方と今後の進め方などについて審議。3) その他。

(5) 50周年記念事業準備委員会幹事会(37.7.4)出席者: 理事5。議事: 1) 末森専務理事から経過説明。2) 次回までに実行委員会の行事の種類および予算, 実行委員のメンバーを作成する。

(6) 本州四国連絡橋技術調査委員会基礎に関する専門部会幹事会(37.7.5)出席者: 国鉄側幹事6名, 建設省側幹事5名。議事: 1) 海中構造物の試験施工方案について説明。2) 白竜号の視察結果の説明。3) 海底ボーリングやぐらの現状について。

(7) 本州四国連絡橋技術調査委員会上部構造に関する専門部会幹事会(37.7.5)出席者: 国鉄側幹事8名, 建設省側幹事7名。議事: 1) 幹事長の選出。2) 専門部会設置の趣旨および経緯の説明。3) 専門部会内規について。4) 部会の研究方針。5) 当面の幹事会の活動について。6) 幹事会構成について。

(8) 第2回文献調査委員会(37.7.6)出席者: 千秋委員長, ほか委員および幹事14名。議事: 1) 委員長より委員会の運営方針の大綱を説明。2) 文献目録記入担当雑誌について。3) 文献カード作成に関する事項について。4) モニターについて。5) 新規購入雑誌について。6) 各大学, 研究所その他の機関に備付けられてある外国雑誌のリスト作成について。7) その他。

(9) 第7回出版企画委員会(37.7.9)出席者: 佐藤委員長, 八十島幹事長, ほか委員および幹事9名。議事: 1) 今までの審議事項を一括して報告。2) コンクリート・ライブラリー, トネル工学シリーズ, 水理研究会講演概要, 海岸工学講演会講演集などの取り扱いについて協議。3) 八十島幹事長が会誌編集委員長に就任のため, 後任に奥村委員(理事)を決定。4) 50周年記念出版物について。5) 委員会関係出版物と論文集・会誌の内容との関連については, 出版企画委員会が中心となり関連委員長と懇談する機会を設けることとした。6) その他。

(10) 第1回論文集各部委員会(37.7.11)出席者: 第1部会・北川部会長, ほか委員7名, 第2部会・吉川部会長, ほか委員7名, 第3部会・山川部会長, ほか委員4名, 第4部会・丸安部会長, ほか委員7名および幹事。議事: 1) 各部会ごとに審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿の審査委員の決定。3) 交代委員の紹介。4) その他。

(11) 第2回会誌編集委員会(37.7.17)出席者: 八十島, 堺正副委員長, ほか委員15名。議事: 1) 投稿原稿の審査報告。

2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 依頼原稿状況。4) 前回小委員会議事に対する検討。5) 新しい講座について。6) 編集委員会の小委員会の割り振り、および担当欄について。7) 新規依頼原稿案について。8) その他。

(12) 第1回論文集部会長会(37.7.19)出席者:丸安委員長,北川,吉川部会長,ほか委員および幹事5名。議事:1)各部会報告。2)各部会での原稿処理状況について。3)論文集第85号(9月発行),および第86号(10月発行)掲載原稿について。4)関連論文の取り扱いについて。5)衛生工学関係の論文の取り扱いについて。6)学会誌へ掲載している論文紹介について。7)学会誌の発行日の歩調を合せて論文集も早く発行するため9月以降の委員会開催予定について。8)その他。

(13) トンネル工学委員会設計分科会(37.7.20)出席者:坂本主査,ほか委員および幹事5名。議事:1)設計に関する事項の項目案の検討。2)その他。

(14) 原子力土木技術委員会(37.7.23)出席者:左合委員長ほか委員6名。議事:1)理事東海村原子力研究所見学について。2)第2回委員会議事録について。3)委員の追加について。4)原子力学会長よりの照会について。5)資料の説明および討議。

(15) 第3回会誌編集小委員会(37.7.23)出席者:八十島委員長,ほか委員8名。議事:1)47巻8号口絵写真,ニュースの決定。2)47巻9号会誌の内容について。3)新しい講座について具体的な打合せを行なった。題目「土地造成」執筆希望内容等。4)新規設置欄について。5)その他。

(16) 異形鉄筋設計研究委員会幹事会(37.7.24)出席者:幹事5名。議事:T形はり鉄道橋および道路橋の設計例について審議し,幹事会としての最終原案を作成した。

(17) 本州四国連絡橋技術調査委員会上部構造に関する専門部会幹事会(37.7.24)出席者:国鉄側幹事8名,建設省側幹事7名。議事:1)前回議事録の承認。2)現在までの調査および今後の計画について。3)部会運営計画について。4)設計基準について。

(18) 本州四国連絡橋技術調査委員会に関する専門部会幹事会(37.7.24)出席者:国鉄側幹事7名,建設省側幹事7名。議事:1)大口径コアポーリングの新機械の説明。

2)大口径掘削機の一覧表について。3)その他。

(19) トンネル工学委員会施工分科会(37.7.25)出席者:住友主査,ほか委員および幹事5名。議事:1)目次案の検討。2)示方書作成上の問題点について。3)委員増員について。

(20) 本州四国連絡橋技術調査委員会現地視察出席者:委員および幹事23名,幹事補佐3名。8月18日~21日の4日間5ルート(尾道・今治,宇野・高松,鳴門・明石の視察)を行なった。

◎その他

(1) 第12回応用力学連合講演会第3回運営委員会(37.7.2)

出席者:関係者11名。

1)特別講演者を次のとおり決定した。

| | | |
|-------|----------------------------|-------|
| 土木学会 | 最近の土質力学 | 最上 武雄 |
| 日本数学会 | Navier-Stokes 方程式の解の存在について | 伊藤 清三 |

2)講演概要集発行部数および頒価の決定。3)ポスター・プログラムの印刷部数の決定。4)プログラムの校正。5)特別講

演者の謝礼その他について話し合った。

(2) 学術研究連絡委員会設置打合せ会(37.7.18)出席者:末森専務理事,林 泰造,久保慶三郎,久野悟郎の3氏。議事:1)委員会内規案の作成。2)委員の選考範囲検討。

支 部 だ よ り

◎東北支部

道 路 講 習 会

1. 日 時:37.7.18(水),19(木)
2. 会 場:日の出会館7階ホール(仙台駅前)
3. 教 材:道路講習会講演集 B5版179ページ
4. 講師および題目:

7月18日(水)

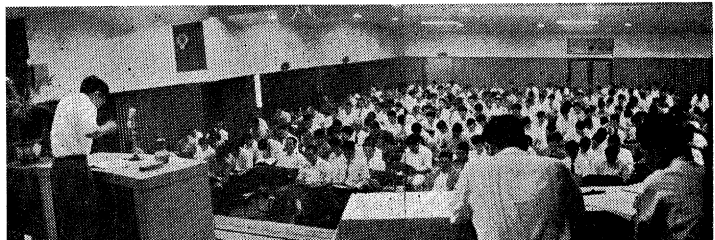
| | | |
|-----------------|-----------|-------|
| 開会のことば | 土木学会東北支部長 | 小西 則良 |
| 土工工事の機械化施工 | 国土開発KK | 伊丹 康夫 |
| コンクリート舗装工事の品質管理 | 土木研究所 | 伊東 茂富 |
| アスファルト | " | 松野 三朗 |

7月19日(木)

| | | |
|------------------|-------------|-------|
| 土工工事の品質管理 | 東北大学教授 | 河上 房義 |
| コンクリート舗装工事の機械化施工 | 建設省 | 三谷 健 |
| アスファルト | 日本舗道KK | 亀卦川振興 |
| 閉会のことば | 土木学会東北支部幹事長 | 佐々木茂雄 |

5. 映画上映:名神高速道路山科舗装
なだれ コルゲートパイプ
6. 参加者:440名
7. 主 催:土木学会東北支部・日本道路建設業協会東北支部・日本建設機械化協会東北支部

道 路 講 習 会 会 場 全 景



◎関西支部

(1) エキスカーション(乗鞍方面,37.7.31~8.1)
参加者:48名,参加費:2500円(国鉄バス持参の人2000円)

御 願 い

土木学会に対する御希望,御意見,学会の飛躍的發展のため広く会員の方々の御希望または建設的御意見を伺いたないので書面または学会に御立寄りの上お聞かせ下さい。

「学会費」の御払込について

「学会費」についてはすでに御請求申上げておりますがいまだ御払込み願っていない方は至急御送金下さるようお願いいたします。

| | |
|---|---|
| 編 | 集 |
| 後 | 記 |

学会誌を親しみやすくする、その第一歩として、題目をやわらかくすることを始めてみました。せっかく書いて下さった方には申し訳ないのですが、「やさしくしよう」という編集委員会の主旨として御了承いただきたいと存じます。羊頭狗肉とならないように、内容についても極力読みやすくするよう、執筆者各位の御協力を切望いたします。

子供のための科学シリーズ、一般むけの土木建造物の話などを編集している人達に聞きますと、「正直のところ大学の先生に依頼してもむずかしくて読めない。結局、やさしくこなせるライターを確保しておいて大巾に書きなおしている……」ということを言っていました。高度の理論なり研究成果を、内容をおとさず、簡潔かつ正確に一般の人に理解させるということ、非常にむずかしいことですが、書く立場、編集する立場、読む立場から真剣に努力したい問題のひとつでしょう。作られたベストセラーなる言葉が一時マスコミで取り上げられました。これは書いた人に編集者が気のすむまで何回でも書き直しを要求し、とにかく売れそうな本を作り上げるということです。行き過ぎの非難もありましょうが、出版産業の計画生産の上からの

主張としては面白いと思います。

× × ×

学会誌の編集についてもつねに読む立場を考えいろいろ議論がたたかわれています。工事管理講座は8月号で一段落、いま次回講座について慎重な検討が行なわれ、11月号より最近いろいろ話題にのぼっている「土地造成」を取りあげることにしましたのでご期待下さい。

それに会告でお知らせ致しましたように近く「読者の窓」を設置致しますのでご投稿をお待ちしております。これと同時に「誌上写真コンクール」も開催致しますのでふるって御応募下さい。

年間会費1800円はちょっと高いような感じを受ける方もおられるかも知れませんが、学会誌を身近なものにし、口絵写真、豆知識、ニュース等をお気軽に御寄稿いただければ、規定の原稿料をお払い致しますので、会費は十分ペーサーすることもできるわけですので、おおいに御投稿下さい。

これからは例年のお通り台風の季節です。皆様の御健斗により実り多い秋になることを願いながら……

[編集部 岡本・石塚・記]

会員入退会について(昭和37.7.1~7.31)

| | | |
|-------|------|-----------------------------|
| 1. 入会 | 138名 | (正79 学52 特1・B1 特1・C1 特1・D5) |
| 2. 復活 | 8名 | (正) |
| 3. 退会 | 60名 | (正55 学4 特1・D1) |
| 4. 死亡 | 1名 | (正) |
| 5. 転格 | 10名 | (学→正9 正→学1) |

特別員入退会(昭和37.7.1~7.31)

| | | | | |
|----|------------|------|-----------------|-----|
| 入会 | 昭和 37.7.20 | 特1・B | 日産建設KK | 東京都 |
| | " 7.25 | 特1・C | 梶谷調査工事KK | " |
| | " 7.24 | 特1・D | KK日本開発設計事務所 | " |
| | " 7.5 | " | 広島建設コンサルタントKK | 広島市 |
| | " 7.1 | " | 丸善KK | 東京都 |
| | " 7.18 | " | 建設省東北地方建設局 | 仙台市 |
| | " " | " | 運輸省第一港湾建設局 | 新潟市 |
| 退会 | 昭和 37.7.9 | 特1・D | 東京電力KK 資材部工事契約課 | 東京都 |

会員現在数(昭和37.7.31現在)

| | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|----|------|------|------|------|----|-------|------|
| 名誉正員 | 学生員 | 賛助 | 特級 | 特1・A | 特1・B | 特1・C | 特1・D | 特2 | 計 | (増) |
| 48 | 13257 | 1321 | 30 | 15 | 29 | 154 | 234 | 20 | 15123 | (85) |

正員 佐藤四郎君 死去 年月日不詳 年令不詳

昭和37年9月10日印刷

昭和37年9月15日発行

土木学会誌 第47巻 第9号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行者 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料20円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番